

大分教育事務所訪問 69

## 大分市立吉野小学校に学ぶ

### 学校経営から学ぶ

学校の教育目標「心ゆたかにたくましく生きる児童の育成 ～自主・自律・寛容～」を達成するために、学力向上部、心育て部、体力向上部を中心に、それぞれが取組指標や検証方法に基づき組織的に取り組んでいます。

注目すべきは、学校の教育目標をより意識するために、昨年度末に全職員で話し合い以下の3点を設定し、日々の授業や学校生活において、教職員だけでなく子ども達にも意識させています。

**自主：自分から取り組む、自律：自分で決める 寛容：互いを認める**

今後は、この3点に向かう子どもを育成するためには、学校として育成を目指す資質・能力(教科横断的な視点に立った 例:言語能力)を明確にされてはいかがでしょうか。さらに、学校経営計画表の取組項目においても、それぞれの取組が、自主、自律、寛容に向かっているのか、どのような資質・能力を育成するために行うのかを明確にすることで、教職員、児童だけでなく、保護者や地域の方との協働につながると思いました。



### 自主

最後まで集中して読めるのは、自分から学び、挑戦する空気をみんなでつくっているから。



### 自律

タブレットは道具。だから、使う、使わないかは自分で決める。自己決定を繰り返すことで、自律できる。

### 授業から学ぶ

全学級の授業を参観させて頂き、併せて細やかな指導案も示して頂きありがとうございました。どの教室の子ども達も学びから逃げずに頑張っていたのは、先生方が自主、自律、寛容を意識した学級経営が行われているからだと感じました。特に、3年生道徳は、自分の考えを自分の言葉でまとめ、さらに、友達の意見の交流が自然と行われていたので、多くの子どもが挙手をして自分の意見を述べていました。

今後は、指導案にある「振り返り」には、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」として記入してみたいでしょうか。そのことで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思いました。



### 寛容

友達の考えを認めることで、自分の考えと比較したり、深めることができる。だから、共に成長する。

